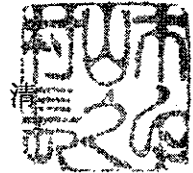


建 第 358 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

山形県村山市長 佐 藤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった件名について別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

山形県村山市

少子・高齢化が進む地方にとって「生活に密着した道路」「雪に強い道路」の整備は欠かせないものです。しかし、橋梁等既存施設の老朽化などで維持費が増すなかで市だけで整備を行なうことには限界があり困難です。このような中で整備を進めるためには地方道路整備臨時交付金事業等の継続拡充して、より一層市町村が運用しやすくしていただきますよう要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

山形県村山市

○現状

- ・高齢化が進んでいる
- ・若者が定住しない
- ・観光資源の活用
- ・災害・雪対策

○課題

- ・公共交通機関が少なく、道路整備が遅れている
- ・働く場の提供それを支える道路網の整備
- ・資源をいかして交流が図れる道路整備
- ・災害・雪に強い道づくりの推進

②－2 地域の目指すべき将来像

山形県村山市

本市の道路整備方針として、総合計画のなかで「まちはにぎやか元気なむらやま」を目標に掲げており、「村山市にずっと住みたい」「将来は村山市に住みたい」と思えるようなまちになるために活気あるにぎやかなまちづくりを進めています。

主な施策として、東北中央自動車道の建設促進・地域活性化のためのインターチェンジ設置、生活関連道路の整備、雪に強い道づくり、消・流雪溝の整備、高齢者等への支援体制づくり等に取り組むことによって目標達成したいと考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

山形県村山市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	東北中央自動車道の整備	産業・観光の活性化	
・少子・高齢社会 に対応した子育て環境、バリア フリー社会の形成	生活関連道路の整備 雪に強い道づくり	安心して住みやすい地域の形成	